

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 デイトナ

コード番号 7228 URL <http://www.daytona.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 紳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 中嶋 哲司

TEL 0538-84-2200

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,893	△5.7	127	0.8	119	△2.9	140	108.5
23年12月期第2四半期	3,066	4.7	126	161.0	123	234.7	67	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 147百万円 (161.5%) 23年12月期第2四半期 56百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	67.02	66.59
23年12月期第2四半期	19.28	19.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,996	1,938	37.6
23年12月期	4,711	1,865	37.3

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,877百万円 23年12月期 1,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年12月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年12月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,019	△1.4	288	△10.3	272	0.9	287	80.6	136.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	3,602,600 株	23年12月期	3,598,800 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	1,497,972 株	23年12月期	1,497,972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	2,102,812 株	23年12月期2Q	3,504,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年8月29日に日本証券アナリスト協会が主催する個人投資家向け会社説明会において、業績等の状況を含めた説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに大阪証券取引所ホームページ内の当会社情報ページにIR資料として掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
(7) 重要な後発事象	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州政府の債務危機を背景とした金融市場の変動リスクや、円高高止まりによる輸出産業への影響など、依然厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景とした緩やかな持ちなおしの動きも見られる状況となりました。

二輪車業界においては、3月のモーターサイクルショーを皮切りに、各種イベントが開催され、業界全体で盛り上げようとする動きや、国内新車販売が前年を上回るなど、期待感のもてる状況となりました。

当社グループにおいては、当初はモーターサイクルショーの出展などの費用の先行支出や、天候面で積雪や低温といったバイクにとっては厳しい気候が続きましたが、4月後半から気温も上がり、特に国内拠点卸売事業の業績は順調な推移となりましたが、小売事業においては、多摩店の移転時の休業期間や移転後の店舗面積縮小による影響などにより売上の減少となりました。

この結果当第2四半期連結累計期間の連結売上高は28億93百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は1億27百万円（前年同四半期比0.8%増）、経常利益は1億19百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。四半期純利益は第1四半期に子会社が営業店舗の公的収用に伴う補償金を特別利益として計上したため、1億40百万円（前年同四半期比108.5%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、ヘルメット消臭機など新商品販売が比較的好調に推移したこともあり、売上高は16億75百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。セグメント利益についても、粗利益率の向上や経費節減により、セグメント利益は1億66百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

バイクメーカー向けOEM出荷が低調であったため、売上高54百万円（前年同四半期比65.6%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期はセグメント利益19百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、1月の初売りから好調なスタートを切ったものの、その後の降雪と低温により急激に来店客数が減少するなど、気候の影響を大きく受けました。また多摩店が東京都の公的収用に伴う店舗移転のため3月半ばからの休業期間と、4月から営業を再開後も店舗面積の縮小などの影響も要因となり、売上高は12億33百万円（前年同四半期比10.0%減）、セグメント損失は28百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。なお、多摩店の公的収用の補償金は特別利益で計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.0%増加し、25億39百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億16百万円増加、たな卸資産が96百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、24億57百万円となりました。これは、有形固定資産が33百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億85百万円増加し、49億96百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ35.4%増加し、17億87百万円となりました。これは、短期借入金が4億20百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.7%減少し、12億70百万円となりました。これは、長期借入金が2億7百万円減少、社債が68百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億12百万円増加し、30億58百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、19億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、重要な後発事象のページで記載しておりますが、子会社の1店舗閉店による影響が予想されるため、売上高は当初予想より3.2%減の60億19百万円を見込んでおります。ただし利益面では国内拠点卸売事業が順調に推移していることもあり、営業利益は2億88百万円、経常利益は2億72百万円、また当期純利益については第3四半期に子会社の補償金の収受による特別利益の計上も見込まれるため、2億87百万円となる予想です。

なお、現段階において配当予想の修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,064	380,008
受取手形及び売掛金	375,795	491,953
たな卸資産	1,377,769	1,474,749
その他	176,855	192,993
貸倒引当金	△288	△60
流動資産合計	2,288,196	2,539,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	791,679	786,466
土地	1,483,087	1,482,915
その他（純額）	55,797	94,303
有形固定資産合計	2,330,564	2,363,685
無形固定資産	21,899	19,314
投資その他の資産		
その他	135,053	138,875
貸倒引当金	△64,601	△64,601
投資その他の資産	70,451	74,273
固定資産合計	2,422,915	2,457,273
資産合計	4,711,111	4,996,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	258,461	293,568
短期借入金	662,858	1,082,871
未払法人税等	66,427	72,369
賞与引当金	15,483	17,263
その他	317,558	321,792
流動負債合計	1,320,789	1,787,864
固定負債		
社債	570,000	501,160
長期借入金	904,905	697,695
退職給付引当金	530	582
その他	49,417	71,130
固定負債合計	1,524,853	1,270,567
負債合計	2,845,642	3,058,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,450	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	1,766,114	1,884,989
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	1,772,617	1,891,496
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,278	△14,337
その他の包括利益累計額合計	△14,278	△14,337
少数株主持分	107,130	61,327
純資産合計	1,865,469	1,938,486
負債純資産合計	4,711,111	4,996,918

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,066,738	2,893,377
売上原価	1,979,109	1,793,612
売上総利益	1,087,628	1,099,765
販売費及び一般管理費	960,823	971,894
営業利益	126,805	127,871
営業外収益		
受取手数料	5,019	4,915
その他	6,534	5,747
営業外収益合計	11,553	10,662
営業外費用		
支払利息	11,490	11,754
その他	3,488	6,912
営業外費用合計	14,979	18,667
経常利益	123,380	119,866
特別利益		
固定資産売却益	111	735
店舗移転補償金	—	66,263
負ののれん発生益	—	30,981
その他	10	—
特別利益合計	121	97,980
特別損失		
固定資産除却損	573	540
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,385	—
損害賠償金	7,645	—
特別損失合計	12,605	540
税金等調整前四半期純利益	110,896	217,306
法人税、住民税及び事業税	60,192	70,859
法人税等調整額	△5,460	△1,416
法人税等合計	54,732	69,443
少数株主損益調整前四半期純利益	56,164	147,862
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△11,420	6,929
四半期純利益	67,584	140,933

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,164	147,862
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	360	△59
その他の包括利益合計	360	△59
四半期包括利益	56,524	147,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,941	140,874
少数株主に係る四半期包括利益	△11,416	6,928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,896	217,306
減価償却費	55,937	50,019
負ののれん発生益	—	△30,981
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,385	—
損害賠償金	7,645	—
店舗移転補償金	—	△66,263
支払利息	11,490	11,754
受取利息及び受取配当金	△123	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△148,586	△116,507
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,821	△97,090
仕入債務の増減額 (△は減少)	98,494	35,289
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,792	△13,703
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,268	△227
その他	3,676	△2,368
小計	147,578	△12,815
利息及び配当金の受取額	181	40
利息の支払額	△12,257	△12,444
店舗移転補償金の受取額	—	90,141
法人税等の支払額	△48,902	△65,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,600	△755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	14,400	13,900
定期預金の預入による支出	△15,750	△16,205
関係会社株式の取得による支出	△225	△21,750
有形固定資産の取得による支出	△10,052	△66,456
有形固定資産の売却による収入	114	766
無形固定資産の取得による支出	△6,075	△1,107
貸付金の回収による収入	450	—
差入保証金の回収による収入	3,588	9,183
差入保証金の差入による支出	△172	△11,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,722	△93,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	125,255	329,570
長期借入金の返済による支出	△83,595	△115,820
リース債務の返済による支出	△13,262	△8,599
社債の償還による支出	△68,840	△68,840
配当金の支払額	△29,863	△22,023
その他	—	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,305	114,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,142	△347
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,715	19,638
現金及び現金同等物の期首残高	197,546	255,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	201,262	274,667

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,542,753	153,752	1,370,232	3,066,738	—	3,066,738
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	81,969	3,692	72	85,734	△85,734	—
計	1,624,722	157,445	1,370,304	3,152,472	△85,734	3,066,738
セグメント利益又は損失 (△)	131,696	19,171	△23,472	127,395	△589	126,805

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△589千円は、たな卸資産の調整額△1,157千円、固定資産の調整額583千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,619,254	40,660	1,233,462	2,893,377	—	2,893,377
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	56,155	13,573	16	69,744	△69,744	—
計	1,675,409	54,234	1,233,479	2,963,122	△69,744	2,893,377
セグメント利益又は損失 (△)	166,257	△9,396	△28,070	128,790	△919	127,871

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△919千円は、セグメント間取引消去869千円、たな卸資産の調整額△2,350千円、固定資産の調整額561千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成24年7月6日に、子会社である(株)ライダーズ・サポート・カンパニーの賃借物件である千葉湾岸店について、(株)セガとの店舗賃貸借契約終了に伴う合意がなされ、補償金を収受する見込みであります。また、これに伴い、千葉湾岸店を平成24年7月31日に閉鎖いたしました。

この合意により、有形固定資産の除却損等を差し引いた84,490千円を、第3四半期において特別利益に計上する予定であります。